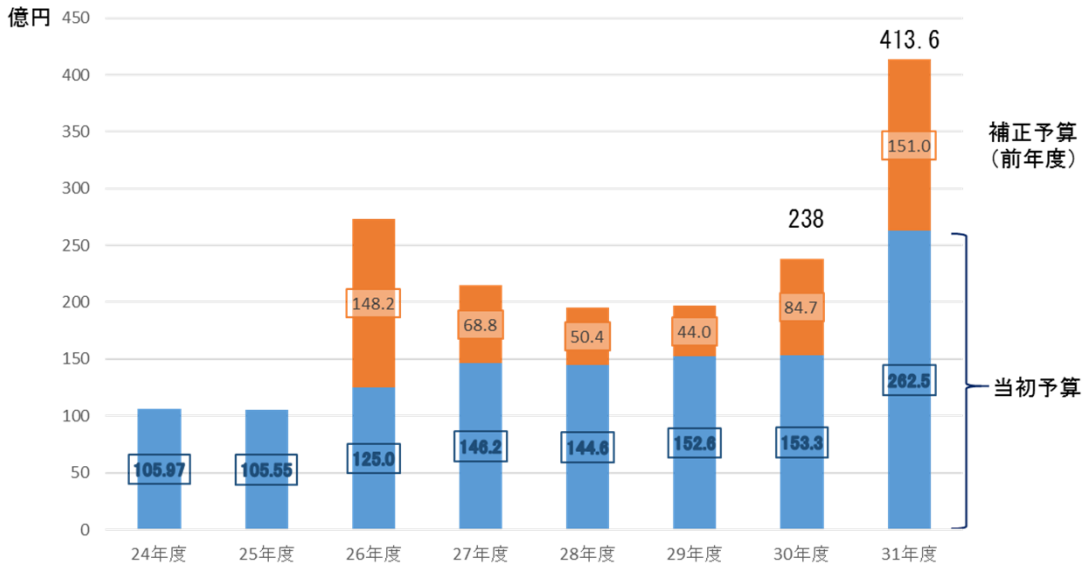


**H31年度予算案 262.5億円**  
 (H30年度予算額 153.3億円)  
**対前年度71%増**

- 昨年11月1日に4機体制でのサービス開始。
- 平成35年度めどの7機体制による持続測位の確立と機能性能向上に取り組む。
- **平成31年度予算案は対前年度71%増の262.5億円、平成30年度第2次補正予算と合わせると74%増の413.6億円を確保。**

## 平成31年度予算の具体的内容

- **6号機、7号機の開発着手**
- **5号機、6号機、7号機の機能・性能向上**  
 (精度向上、妨害電波対策等のセキュリティ機能の向上)
- **4機体制の確実な運用**
- **初号機後継機及び5号機の開発・製造・打上げ**



## 準天頂衛星システム「みちびき」サービス開始記念式典

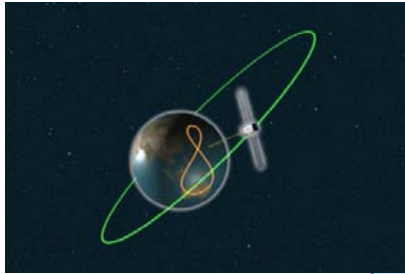


左から、  
 平井卓也 宇宙政策担当大臣  
 葛西敬之 宇宙政策委員会 委員長  
 安倍晋三 内閣総理大臣  
 山崎直子 宇宙飛行士

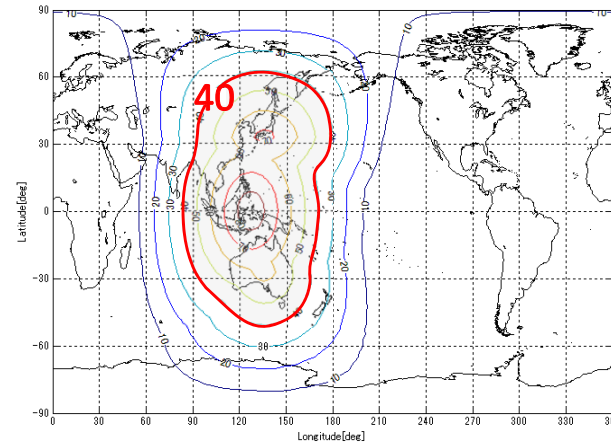
## スケジュール

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
2、3、4号機	■	★ ★ ★ ★	■					
初号機後継機		■	■	■	■	★		
5号機機能性能向上			■	■	■	■	■	★
6、7号機機能性能向上				■	■	■	■	★ ★

## 「みちびき」の軌道等



日本のほぼ真上(準天頂)に1機あたり約8時間滞在(右図は7機体制イメージ)



準天頂軌道衛星のカバーエリア

※赤枠内では仰角40度以上で1機以上が可視となり、測位精度が向上

## 「みちびき」の機能

### ①衛星測位サービス(GPSの補完)

衛星数増加による測位精度の向上(上空視界の限られた都市部を中心に改善が図られる)



### ②測位補強サービス(GPSの補強)

衛星測位の精度向上(電子基準点を活用してcm級精度を実現)



### ③メッセージサービス

- ・災害・危機管理通報
- ・衛星安否確認サービス

